

# テイケア通信

## 十一月号



### 千歳飴の由来や意味

七五三では「千歳飴」が定番として一般的に広く知られていますが、それではどうして七五三では千歳飴が欠かせないのか、千歳飴についてご紹介します。

千歳飴の由来には二つの説があります。

① 浅草の七兵衛という飴売りが「千年飴」という名で売り始めた説

江戸時代前期に、浅草で飴売りをしていた七兵衛が、紅白に色付けして長く伸ばした飴を「千年飴」と名付けて売り出したのが始まりと言われています。当時は、高価な砂糖が日本でも徐々に広まり、子どもの健康や長寿をお祝いする場に砂糖を使った飴を用いたことや、紅白の色、長い形が長寿を連想させるなどの理由で「千」と言われています。

② 大阪の平野甚左衛門が浅草で「千歳飴（せんざいあめ）」という名で売り始めた説

江戸時代前期に、大阪の平野甚左衛門が販路を広げるために浅草の境内で「千歳飴（せんざいあめ）」と名付けて売り出したのが始まりと言われています。千歳飴を舐めると千才まで生きられると言われ、縁起物として人気になりました。せんざいあめ」という呼び方が後に現在の「千歳飴」になったと言われています。

### 千歳飴の形の意味

千歳飴は白砂糖を練り固めて作った「太白飴（たいはくあめ）」を紅白に染めて作られており、その見た目の通り縁起を担いでいるものです。

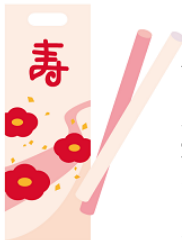
作業過程においても手で伸ばすだけでなく、こも伸びる様子も長生きをイメージさせることや、冷やし固まる前の飴は粘りがあるの

で、  
細く長く「そして粘り強く」いつまでも元気で健やかに成長しますようにと祈願する意味があります。

そして、めでたいとされる「鶴や亀」「松竹梅」などの絵柄の袋に入れられ、長寿と健康を願う縁起物となっています。

鶴亀は、「千年亀は万年」「長生きを示唆します。松竹梅は、冬でも緑を保つ松や竹、冬を耐えて真っ先に花を咲かせる梅」という意味があり、健康や力強さを示唆しています。

このようになさざまな思いが込められている千歳飴です。



**臨時利用・振替利用 随時受付中！**

デイケア利用時にお休みした場合は、他の曜日に振替利用ができます。また、ご家族様のご都合で、急に利用したい時などは、臨時利用もできます。詳しくはオキドキに連絡下さい（TEL 〇四二―五九六―〇一一）

## 11月主な予定

- 8日(月)～ 12日(金)  
体重測定
- 10日(水)洋食めぐり
- 15日(月)ご当地グルメ
- 17日(水)お楽しみ献立
- 30日(火)セレクト食



## 11月10日(水) 昼食に提供！



洋食めぐり「ポークソテー」

写真はあくまでイメージです。提供するものとは異なりますのでご了承下さい